

# 進路指導部だより

令和 6 (2024)年  
12月 20 日 (金)  
第 2 号  
三戸高校進路指導部

## 現在の進路希望の特徴は？

進路指導部だより今年度の第 2 号が出ましたので、これを読んで、ぜひ自分の進路をじっくりと考えるきっかけにしてください。今回は、今年 2 回目の進路希望調査についての話題です。

**1 ～ 3 年生の第 1 志望の状況は下のグラフ**に示されています。**上の段が今年のもので**、下の段が昨年の状況です。学年ごとに人数が違いますので、いつも通り割合（％）で表しています。

**学年によって進路希望の傾向が大きく違う**のが、最近の特徴です。進学関係では、ここ数年専門学校の希望者が多めでした。学校によりますが、進路決定の時期が割合早めという傾向がありますので早く安心したい人に向いているかも知れません。行き先も、年によって仙台の学校が多かったり地元が多かったりしましたが、**今年は何故か盛岡の学校が人気**でした。専門学校希望者が多い傾向は今年の 3 年生までで、**1 年生や 2 年生はそれほど多いわけではありません**。その分、**大学や短大を希望している人が多い**ようです。大学などへの**進学希望者がほとんど合格できる全入時代**が近づいていますが、**名前の知られた都会にある人気の大学や学費の安い大学**など、こだわりを持って志望校を決めると、そのような大学は全入時代であっても**競争が激しくて簡単には合格できません**。厳しい競争に勝ち抜いて志望校に合格するためには、**コツコツと地道に実力を蓄えていく**しか方法はありません。

また、本校では**就職希望者がやや増加傾向**にあるようです。全体のほぼ 1／3 ぐらいと思っていましたが、どの学年もその数を上回っています。進学しても最終的にはみんなが就職することになるのですが、進学する人よりも**ひと足早く社会に出て荒波にもまれる**ことは確かです。就職希望者に関しては、社会に出るための準備ができる最後の 3 年間は高校時代ということになります。卒業後に困らないよう、**自分で考えながらさまざまな経験を積んでおく**ことが大切でしょう。

